



7月15日、来年度の予算編成を前に、なごやかクラブ名古屋(市老連)の犬飼謙治、小池吉彦、加納年子各副会長が名古屋市の行政支援についての予算等の要望のため名古屋市役所を訪れ、折戸秀郷長寿社会企画監に市長あての要望書を提出しました。

① 単位クラブに対する補助金を、クラブ会員の規模に応じた額とするとともに、増額を要望します。

② 区老連役員に対し、日頃のクラブ活動における費用弁償として年5000円の支給を要望します。

③ なごやかクラブの友愛活動に対する名古屋市の助成を倍増していただきますよう要望します。

① については、「なごやかクラブではこれまで会員増強に努めてまいりましたが、会員減少に歯止めがかからないのが実情です。その一因として、現行の補助金(年4万1520円)が会員数に関わりなく一律で、会員数と補助金とが連動していないため、会員増には消極的になりがちな一面があります。現実には、補助いただける金額に比して煩雑な手続きを嫌い退会したクラブもあります。政令市の多くが、単位クラブの会員数に応じて補助金の額を変更しております。本市の補助金は政令市の中でも下位となっております。今後の会員勧誘活動にも励みになるものと思われまので、規模別に増額していただきたい」と要望しました。

② については、「活動の中心的役割を担っている区老連役員は、単位クラブの会長であるとともに、区老連の役員として、研修委員会や広報委員会等多くの会合や種々の活動に参画しています。もちろんボランティアですが、こうした活動に参画することで、時間的な制約を受けるとともに、会合や活動の企画調整段階において事務的な経費(例えば資料のコピー代や関係者への電話代等)を相当地負担しています。区老連役員の負担を少しでも軽減するため、年5000円(敬老パス本人負担金額)の費用弁償を支給してもらいたい」と要望しました。

③ については、なごやかクラブにおいて、現在370程のクラブが、訪問活動として会員による見守りや、サロンの運営を行っております。活動に際し名古屋市からは、訪問活動に年額2400円、サロン活動に年額9600円の事業補助をいただいております。こうした活動はボランティアなものです。継続的に事業を運営していくために、また、興味を持って多くの方に参加していただくためには、開催方法や内容に工夫を凝らす必要があります(例えば、訪問活動時に配布する情報チラシの印刷、サロン開設時のお茶・お菓子の提供、趣向を凝らした催し物等)一定の経費が掛かります。今後とも、高齢者の日常生活を支える友愛活動に力を入れ、活動のすそ野を広げてまいりたいので、現行補助額を倍増してもらいたい」と要望しました。

市側からは、「老人クラブが常日頃からコミュニティ活動等に尽力いただいていること、またクラブ活動を通じて高齢者の健康増進にご協力をいただいていることに感謝申し上げます。予算要望につきましては、皆さまの活動を支援していきたいので、予算確保に向け努力していきたい」とのお話がありました。

千種さわやかポイント帳

千種さわやかクラブ(千種区老人クラブ連合会)では、単位クラブや学区、区老連の行事への参加や、新規会員の紹介などを行うとポイントがもらえ、基準のポイントに達すると表彰される制度を今年度設定しました。

全会員にポイント帳(千種さわやかポイント帳)を配布し、ポイントを集めてもらいます。毎年3月末に集計を行い、ポイントが30・60になったら、粗品と表彰状がもらえます。またポイントが100になったら、記念品と表彰状が贈呈されます。



【表紙】



【中面】

参加者募集！ 第14回 市老連健康づくり ウォーキング大会

とき：令和3年11月19日(金)
ところ：東山公園1万歩コース内の
約3.7kmのコース

参加費
無料

みんなで歩き 健康づくりの輪を広げよう！
飲み物持参で 随時水分補給を忘れずに！

※参加申し込み：各区老人クラブ連合会 事務局
(区役所福祉課内=☎4ページ参照)にお申し込みください。

「なごやかクラブ 交通安全標語」
「くだろつと 思い込まずに いったん停止」